

# JASMEQは変わります！

## 『協感。』『協進。』

- コロナ時代も3年目を迎えました。消費者・生活者を取り巻く環境は、いままでの連続線上の変化ではなく、誰もが経験していない未知の変化が起こっています。またその行動は、従来の延長線上では捉えきれない変容を見せ始めてきました。
- 特に、食をめぐる変化は、生活者の行動変容にあわせて、革命的な変化の様相を呈してきています。
- 変わりつつけることでしか生きられない。そんな時代が到来しました。まさに私たちの“想像力”と“実行力”が試される時代です
- この時代の変化に対応した、新しい価値観と仕組みをつくりあげるイノベーションが、いま求められているのではないのでしょうか。
- 新しい海には、新しい航海図、新しい羅針盤、新しい船。そして新しい船長と水夫が必要！
- そこでJASMEQに参加する企業の中で、すでに実践されている企業の代表者の方々に登壇していただき、体験した事例を紹介していただきます。先進的なイノベーターが語る、“創造”と“実践”。“協感”のなかから、新たな“振動”“躍進(協進)”にご期待ください。

第40号

発行日 2023/5/1

〒169-0072  
東京都新宿区大久保2-3-4  
出光新宿ビル 4F  
Tel :03-6205-6677  
Fax:03-6457-6759  
最寄駅  
副都心線 東新宿駅より徒歩5分  
〃 西早稲田駅より徒歩5分  
発行責任者  
専務理事  
田中 久夫



|                                  |  |
|----------------------------------|--|
| 1:<br>ブランド<br>イノベーション<br>(4月21日) | ①「伝統」のブランドは、革新をつづけることしか生き続けられない。<br>講師:(株)大安 代表取締役社長 大角安史 氏                      |
| 2:<br>地域と生きる商品づくり<br>(5月26日)     | ②人と地域と創る人の物語<br>地域をベースに地域とともに生きる。<br>講師:(株)阿波市場 代表取締役 上野伸介 氏                     |
| 3:<br>世界市場<br>創造<br>(6月)         | ③日本から世界標準へ、そして日本へ。バレーボール元日本代表が語る「お酢」の世界。<br>講師:センナリ(株) 代表取締役社長 大地克史 氏            |
| 4:<br>零からのブランド<br>づくり<br>(7月)    | ④「零」(一から)からのブランドづくり。大地を拓き、種を巻き、核心的な食べるものをつくる。<br>講師:(株)イチカラ畑 代表取締役 吉田勇童 氏        |
| 5:<br>ブランド<br>深堀<br>(8月4日)       | ⑤核心と深化のなかでしか、オンリーワンは生まれない。「ハニーハンター」が語るブランドを深耕するとは。<br>講師:(株)金市商店 代表取締役社長 市川拓三郎 氏 |
| 6:<br>生協から<br>(9月)               | ⑥こだわりとは、「本質」。“協同”の必要性と“協同”のパートナー(取引先)に今、希求すること。<br>講師:コープ自然派連合会                  |
| 7:<br>生協組合員<br>から<br>(10月)       | ⑦今、そして未来に。<br>ケンコウとシアワセ。“ワタシ”から“生協”&“商品”にキタイすること。<br>講師:コープ自然派 組合員               |
| 8:<br>日本の課題と対応の先進事例か<br>(11月17日) | ⑧日本の消費者構造的変化を予見し、「提案」しつづける企業とは。<br>講師:JMRマーケティング研究所<br>シニアリサーチャー川口健一 氏           |

### 理事会から (第19期)

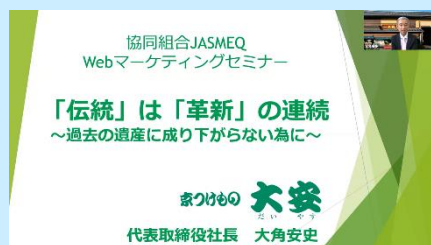
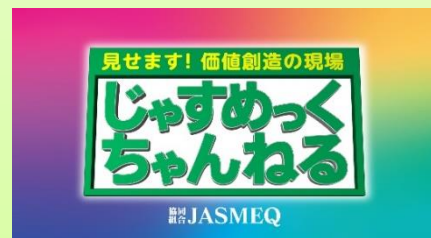
(第19期)  
第3回(2023年2月16日オンラインによる開催)  
第1号議案  
新規組合員の加入承認の件  
株式会社大安より組合員加入の件について、全員一致で可決決定された。

第2号議案  
パソコン入れ替え購入の件  
パソコン2台の入れ替え購入について、全員一致で可決決定された。

財務状況、商品供給事業、品質・衛生管理サポート事業、一般業務等について、報告された。

◆次回第19期第4回の理事会は、2023年5月18日に開催予定です。

YouTubeの「じゃすめっくちゃんねる」のいいね&チャンネル登録よろしく願いたします。

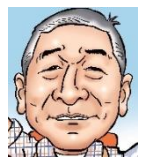


第36回商品開発Webセミナーを開催しました  
『「伝統」のブランドは、革新をつづけることでしか 生き続けられない』  
(株)大安 代表取締役社長 大角 安史氏  
4月21日(金) 14:00~15:40  
「伝統」は「革新」の連続 ~過去の遺産に成り下らないために~  
①プロフィールと大安の歩み ②京漬物と漬物の歴史  
③大安の考え方・理念 ④大安の経営戦略  
※組合員紹介の記事(本紙4ページ)もあわせてご覧下さい

# 品質・衛生管理事業の最近の 動向報告



監物



中村

パルシステム協会の品質管理部会の協賛・支援をいただき実施しました「HACCPリーダー養成講座（3日間）」ですが、12社16名の応募参加をいただきました。

昨年度に続き、コロナ禍の状況も考えて、Webセミナーで計画し実施しました。

今回は、コロナの影響も収束に向いつつも、まだまだ警戒を要する時期でもありましたが、参加を調整いただいた皆様には感謝しております。

同時に、「食品衛生法」改正による、いわゆるHACCPの制度化の施行が始まり、コーデックス委員会でのHACCP文章の2020版への改訂などによる、アレルゲン管理、フードディフェンス対応、PPの検証要求等、第三者認証（JFSCも含む）要求事項の追加要求もあり、講義内容の改訂も進めてもらいました。講座のスケジュールについては、今後再検討や調整が必要と考えさせられた回ともなりました。

次年度（2024年）の開催については、修了アンケートのご意見を参考にして、実践に役立つ内容に努めたいと考えています。できる限り講座の「リアル」での開催復活を検討したいと考えています。

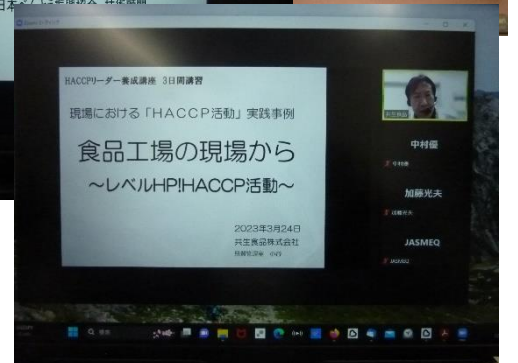
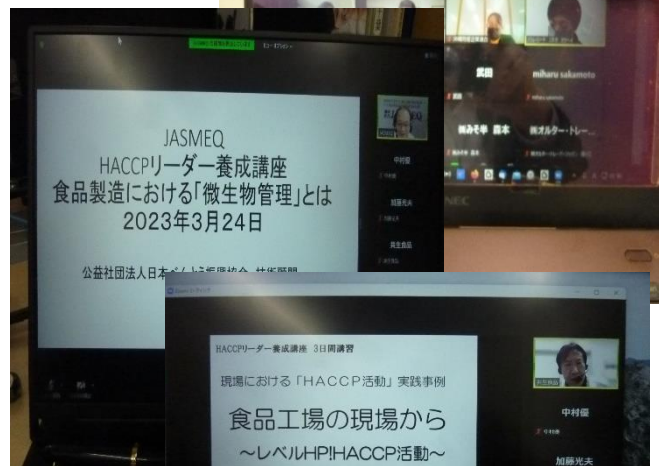
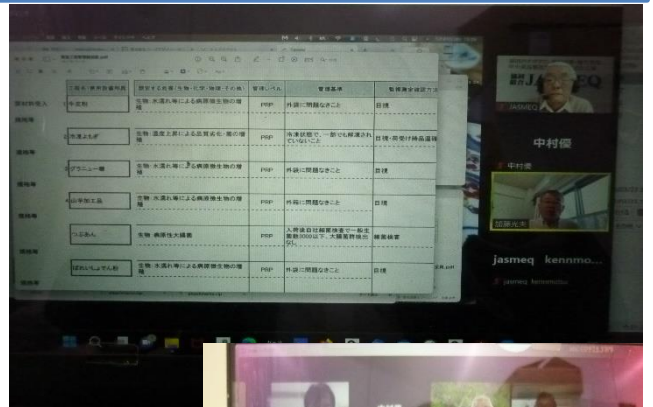
## 2023年3月「HACCPリーダー養成講座（3日間）」実施報告

- 1 実施日 2023年3月22日（水）23日（木）24日（金）
- 2 実施場所 Webセミナー
- 3 参加者内訳（12社16名）
  - <担当部門> 品質管部門5名、製造・工場部門7名 商品・営業4名
  - <業 種> 商社関係4名、食肉・水産加工5名、他惣菜・菓子・麺製造7名

### アンケート結果（抜粋）

研修の内容や奨め方、研修の進行等について、改善すべきこと、良かったこと、気が付いたことがありましたらお知らせ下さい。

- ① 事例紹介が多くすぐにでも取り入れやすい改善項目があり、実践的だった。
- ② 1時間毎の休憩もあり集中できた。
- ③ 今後の現場訪問のさいに役立つ内容だった。
- ④ 工場事例紹介ビデオに一部見づらい点があった。
- ⑤ 体験談が身近に感じられて、とても参考になった。
- ⑥ リアルでの対面の方がスムーズになると思った。
- ⑦ 送付資料がカラー印刷の方が分かりやすかった。（資料は費用の関係もあり白黒印刷）
- ⑧ HACCPについて大事なことは何か勉強になった。（2）
- ⑨ 加藤先生の動画はイメージしやすく、工場に効果的な衛生管理ができることが勉強になった。
- ⑩ 中川先生は大変分かりやすく勉強になった。
- ⑪ 小谷先生はユーモラスで、品質管理員としての違和感はないのだと救われ・少し涙がでました。
- ⑫ 講義を聴くだけでなく、参加者どうしでの話し合いもあると良いと思った。





## おすすめ商品の紹介

ぜひご利用下さい(^\_-)☆



内山



贅鮮・北海道牛しぐれ煮セット 2種4瓶

パルシステム【ネット:手土産ギフト】

「牛しぐれ生姜」と「牛しぐれごぼう」の2種4瓶のセット。ごはんやお酒のおともに。



パルシステム  
【乾物屋さん】

鳴門産の茎わかめを使いやすいサイズにカット。シャキシャキの歯ごたえで炒め物におすすめ。

鳴門産乾燥カット茎わかめ 24g

(パルシステムカタログから転用しました)

## 時の話題 その20

### 「値上げラッシュ」と「消費者物価指数」について

2022年頃より様々なものが値上げされていますが、その原因は为什么呢？

- ①原油価格の高騰により、エネルギー価格、運送費、プラスチック素材などが上昇傾向にあります。さらにロシアのウクライナ侵攻により上昇している。
- ②コロナ禍において2021年はじりじりと円安に進んでいたものの、2022年に入ると、ロシアのウクライナ侵攻によるドル買いとアメリカFRBの金融引き締め策が重なり、ドル高となった。
- ③「ヨーロッパの穀倉」と呼ばれるウクライナの現状や、世界的な天候不順により、小麦の価格が上昇している。

2022年～2023年に値上げされた品目とは

- ①電気
- ②ガソリン
- ③食料品(加工食品、調味料、酒類・飲料、菓子、原材料・パン他)
- ④火災保険料 地震保険料

値上げ対策

- ①賃上げに期待できるか  
日本は欧米諸国と比べて、賃上げ幅も鈍い状態が続いていましたが、大手は初任給の引き上げや、臨時ボーナスなども出されているようです。しかしながら中小企業まではなかなか難しそうですね
- ②生活費の見直し  
住宅ローンの乗り換えや、電気事業者、携帯電話事業者の見直し、食品ロスなくす、節電など
- ③買物ではクーポンや割引券、チラシアプリの活用、特売日やセールを狙う、ポイントを貯めるなど
- ④さまざまな「控除」を活用  
iDeCoやNISA、ふるさと納税など

何よりも、戦争が1日も早く終わりますように。

「消費者物価指数」とは

全国の世帯が購入する家計に係る財及びサービスの価格等を総合した物価の変動を時系列的に測定するものです。2022年度は前年比で3.0%も上昇しました。この上昇率は1981年度以来、実に41年振りの水準です。「生鮮品を除く食料」は、去年の同じ月より8.2%上昇し、1976年6月以来、46年振りの水準となりました。具体的には「卵」が29.4%、外食の「ハンバーガー」が24.6%、「食用油」が24.3%、「だいふく餅」が17.3%上昇しています。その他、「洗濯用洗剤」が17.6%、「ルームエアコン」が10.9%上がっています。総務省は「食料品や生活必需品について当面値上げが続く」とみえています。「家計調査」によると、2人以上世帯の1ヶ月当たりの支出額は食料品3,333円、電気2,022円、ガソリン411円の合計5,766円増え、年間では約7万円の負担増となっています。



中小のメーカーにとって、原料や包材、輸送費さらには光熱費などの値上げにより、商品の値上げをせざるを得なくなっています。厳しい経営状況の中、従業員の給与もなかなか上げることもできませんね。衛生用品の共同購買などをご利用いただき、協同の力でこの難局を乗り越えましょう。



坂本

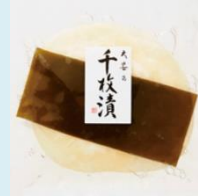
第12回目は株式会社大安さんです

先日、組合員に加入されました「京つけもの大安」をご紹介します。創業が1902年ということで、昨年の5月に120周年を迎えました。「京都の漬物」は、野菜の育つ肥えた土地で良い野菜が育ち、「京の底冷え」や「京もの文化」が、他にはない京都独特の洗練された漬物となりました。伝統にこだわりながらも革新を続けています。化学調味料を使わず、国産野菜にこだわったり、かわいいパッケージにしてみたりと、若年層にもアピールをしています。また、SNSも積極的に活用しています。

漬物だけでなく、製造時に出る残渣を利用した発酵化粧品を開発したりと、新たなチャレンジを続けています。

<https://www.daiyasu.co.jp/>

所在地:京都市左京区  
創業:1902年5月  
代表者:大角安史  
社員数:95名  
事業内容:漬物の製造販売



千枚漬



ちいさなだいやす

章男と早苗の出張日記

高知・四万十での栗の植樹

2022年11月にパルシステム環境委員会にて、「環境・エネルギー政策」に向けて(株)四万十ドラマより事例報告された、「自然共生社会」の実現に向けての取組み。その一環として今回現地を訪問し、(株)四万十ドラマが取組んでいる栗加工品供給の原料となる「栗」の木の植林を行いました。

パルシステムから産直事業部副本部長の工藤部長他2名と環境活動推進室の志賀室長他1名の職員、JASMEQからは富永職員と私が参加しました。尚、(株)四万十ドラマにはパルシステム地域づくり基金の助成団体にも選定されました。5月19日(土)、20日(日)には、環境活動推進室主催で、環境委員会・(株)四万十ドラマ視察が実施されます。画像は、植樹の様子です。(小野)

桃栗三年柿八年といいますが、植樹した栗が実るのは5年後くらいだそうです。その栗が商品化されるまでにはもう少し時間がかかりますね。四万十の産直化も進んで大きな実を結ぶまで、仕事をしたいからと思うこのごろです。(富永)



小野



富永

編/集/後/記

ホームページ：<http://jasmeq.com/>  
メールアドレス：[m.sakamoto@jasmeq.com](mailto:m.sakamoto@jasmeq.com)  
TEL：03-6205-6677 FAX：03-6457-6759

広報紙『JASMEQ』第40号をお届けします。  
ホームページもぜひご覧ください。

パルシステム埼玉のOB会で毎年開催していた「福島ツアー」を、4月6日(木)に3年半振りに開催することができました。古滝屋のオーナーの里見さんに今回のご案内いただきました。まずは旅館の9階に「原子力災害考証館」を作ったので、そちらを見学。観光業を営んでいるため、多くの地元の方たちは、原発事故に蓋をしようとしていましたが、里見さんはきちんと伝えなくてはいけないと思い、こちらを作られたそうです。考証館をオープンさせたのは2021年の3月12日。原発事故が起こった日ですね。大熊町で最後まで行方不明だった女の子「汐凧ちゃん」のお父様、木村紀夫さんと出会ったことから、汐凧ちゃんの遺品や写真などが多く展示されていました。原発事故により大熊町は立ち入り禁止地区になり、なかなか捜索できずにいたそうです。そのため遺骨を発見するのに何年もかかってしまいました。福島県は津波の被害(天災)と原発事故の被害(人災)に見舞われたことがよくわかります。ランチの後はバスに乗り込み夜ノ森へ。こちらは今までも何度かバスで通り、まだあちこち通行止めになっていましたが、いつか桜の季節に訪れてみたいと思っていました。まずは住宅街で降りて歩いてみました。一見普通に暮らしているように見えるのですが、実は原発事故の後、「着の身着のまま」逃げたままになっているお家ばかりでした。しかも窓ガラスが割られていて空き巣に入られている家ばかりでした。4月1日から避難指示が解除されましたが、まだ帰ってきている家は殆どなくこれが現実ですね。今年は桜が早くピークは過ぎていましたが、念願の桜を見ることができました🌸



坂本



原子力災害考証館



夜ノ森の桜